

セ ボ ス

クガヤ
ランティア
ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2019.2 No.178

今月のトピック

特集●

『大平農園 401 年目の四季』 ～世田谷で続ける有機農業～

まちの市民力! ● ふたばの会

キラリ世田谷人 ● 天野 寛子さん



イラストレーション●アヤコオチ

美味しいものが大好きなイラストレーター。節分の豆が食べきれない数になってしまいました...

<http://maruxocchi.com/>

●わたしの世田谷

最寄り駅まで徒歩 30 分の実家から世田谷の自宅に戻ると、交通の便は良く、美味しいお店がいっぱいあるし、道はキレイ。なんて贅沢なんだ!! としみじみ感じました。

『大平農園 401年目の四季』 ～世田谷で続ける有機農業～

かつては農地も多かった世田谷ですが、宅地化が進み、みどりも少なくなってしまう。しかし、時代は変わっても先祖からの畑を守り、農薬と化学肥料を一切使わずに堆肥で栽培する有機農業を続けている稀有な農園が等々力にあります。

奇跡のような「大平農園」の四季を、野菜たちとそれを取り巻く虫や鳥、人びととともに描いたドキュメンタリー映画『大平農園 401年目の四季』が完成しました。

400年の歴史を経て21世紀に生きる大平農園の今を、映画を手がかりに見つめたいと思います。

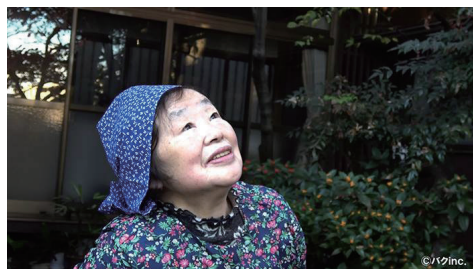


P2～P4の写真は「映画大平農園」のfacebookから使用しています。

ケヤキの木に守られる

セボネ12月号で紹介した「世田谷落ち葉ひろいりレー」のリストにあった「等々力四丁目樹林」。ここが大平さんのお宅であるところ、12月に家族を引き連れて落ち葉ひろいに参加しました。古いお家の庭にそびえ立つ大きなケヤキからは次々と葉が落ちてきます。数ある落ち葉ひろいイベントの中でも、ここだけは4時ぐらいまでの終日作業。1日がかりの作業も、合間にお茶やみかんをいただきながらの楽しいものでした。

大平農園は、閑静な住宅街として知られる尾山台駅近くにある専業農家。大平家に保存されている過去帳や、屋敷林のケヤキの樹齢から推定すると、ほぼ400年の歴史があるといわれています。現在、この家を守るのは11代目大平美和子さん。映画の冒頭、ケヤキを仰ぎながら、美和子さんが「木に守られてきました」と語られる



映画のなかでケヤキを見上げる
大平美和子さん

場面はとても印象的です。ここで出会ったのが森信潤子さん。映画『大平農園 401年目の四季』を生み出した方です。2年かけて制作した映画が完成したのが去年のことでした。各地で上映会が続けられています。宅地化がどんどん進む都会の中に、広い農地が住宅地の中に存在していること自体が奇跡です。しかも、そこでは農薬も化学肥料も使わない有機農業が行われ、作る人と食

べる人が直接つながっています。手間ひまかけて落ち葉から腐葉土を作り、堆肥を積み、種を採る。古い農具で種をもみ、種を蒔き、ポットに植え、定植し、収穫。何十年、何百年も繰り返されてきた農家の営みが、21世紀という今の時代に、ゆっくり続けられている、というのも奇跡のようです。

農薬、化学肥料を一切使わない

今でこそ有機農業のパイオニアと言われますが、最初からそうだったわけではありません。先代の大平信彌おおひらののぶやさんは1950年代に日本ではじめてビニールハウスを考案した篤農家でした。ところがビニールハウスの中で農薬を使い、一週間、めまいや吐き気が止まらず、農薬はやめるしかない、と気づきました。信彌さんはがんで亡くなりましたが、それを機に、「虫も死んでしまうような農薬、化学肥料は一切使わない」と、美

和子さんの夫、博四ひろしさんは決心します。

高度経済成長期、1970年代には公害問題が深刻になり、環境を守り、安全なものを食べたいと思う人びとが増えてきました。当時、農薬をやめている畑が近くにあることを知った母親たちが、大平さんに野菜を分けてほしい、と訪ねて来るようになります。その数がドンドン増え、直接購入する会をつくらうと「若葉会」が1973年に立ち上がりました。



大平農園には安心できる野菜を求めて多くの人がつどう

有機野菜を買うことで農園をささえる、農園は会の意見も取り入れながら生産していく、というのも画期的です。博四さんが1982年にアメリカに行き、有機農業に関するシンポジウムを行った時にはものすごい反響があったそうです。安全で美味しい野菜を食べた人たちから次々と輪が広がり、400人もの会員を抱えていた時もありました。

「顔の見える関係」を大切に

映画を制作した森信さんは、お連れ合いと一緒に制作会社を営んでいる、テレビ番組のディレクターです。大平農園の有機農業がメディアでも注目されるようになって、消費者が農薬について学べるようにという消費者センターからの依頼で、20年前に大平さんのところに初めて取材に行きました。そこで「こんなところにこないいいところがある」と感動した

森信さんは、さっそく会員になりました。

「若葉会の配達の範囲は、2、3時間で往復できるところ。私の住む渋谷は遠い方なんです。2、3軒が班をつくり、会計も班ごと。振込ではなく、月1回の大平邸での定例会に直接お金を持っていつて支払います」

今どき、伝票も手で書き、現金を封筒に入れて払う、というやり方も珍しいですが、あくまでも大切にするのは「顔の見える関係」。定例会は、生産者からの話を直接聞く機会でもあります。大平農園が生産するのは主として軟弱野菜（※）。その他に群馬や千葉の提携農家の野菜が来ます。また各地の生産者とながり、岩手からの青大豆や花豆やおもち、静岡のお茶やみかん、長野のりんご、福島の米など、安全な食材が畑の野菜と共に会員に届けられます。

毎年1月には50人ほどが集まる総会が開かれます。江戸農家の習

慣が守られ、カレンダーを見て、初採りの日を決めます。昔は、お正月飾り、まゆ玉飾り、送り火、など月ごとの農業に関わる行事もやっていたそうです。総会が終わってからがようやく出荷の時期となります。

落ち葉は豊かな腐葉土に

有機農業はあくまでも自然とともにあるので、出来も気候に左右されます。2016年9月は記録的な長雨だった月で、野菜は高騰しました。農園に毎日通う農作業のリーダー、波多野さんは映画の中で「ネギは腐れる、レタスはアブラムシだらけ。キャベツには佃煮ができるほどのモンシロチョウの幼虫が！」とため息をつきますが、それでも出荷は続けます。「次は何が届くだろう、と楽しみ。ものすごくたくさん来る時も少ない時もあるけれど、この野菜で何をつくろうかと工夫します」と森信

さん。

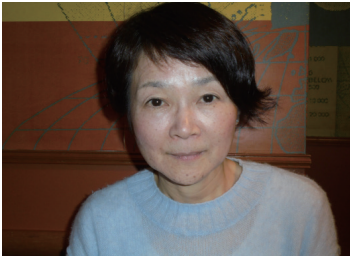
農葉を使わないおいしい野菜の秘訣は、落ち葉でつくられる腐葉土。12月に入ると、朝夕2回にわたって、樹齢400歳のケヤキの落ち葉掃きが日課となります。落ち葉の集積場所には、2015年のもの、14年、13年、そして12年のビンテージものも蓄えられ、熟成して腐葉土になったものを、苗を育てるためのポットに敷き詰めます。ケヤキが葉を落とし、その葉が土になって野菜を育てる、究



大平農園から届く新鮮な野菜
※軟弱野菜とは収穫して傷み始めるのが早い野菜のこと（主に葉物など）を言います。

極の自然の循環です。ケヤキに思わず「ありがとう!」と言いたくなります。

2017年1月、これまで大平さんのところで有機農業を学んできた若者たちの同窓会がありました。大平さん夫妻を「おとうさん、おかあさん」と呼んできた人たちが近況を伝えあいます。サプライズはバースデーケーキ。美和さんの誕生日祝いです。「子どもたち」とフーツとろうそくの灯を吹き消す美和さんは、「もう一回、生きなくちゃいけませんね」と感慨深げです。



お話をうかがった森信さん
長年大平農園を撮り続けてきた。

増えてほしい
手伝う人、食べる人

タイトルの「401年」には、400年の「これまで」の歴史の先へ、「これから」の意味が込められています。森信さんはこんなふうに語ります。

「大平さんのところは居心地がよく、殺伐としていなくて、誰をも受け入れてくれるところ。学校に行けない子が援農にくることもあります。コミュニケーションが苦手だった若者が、定時制高校に行きながら、4年間大平さんのところで援農し、卒業、就職して巣立って行ったそうです。ぜひ、若い人に入ってきてほしいです。アトピーやアレルギーに悩み、野菜が嫌いな子どもも多いけれど、大平さんの野菜はすごくいい。この野菜なら食べられるという子も多いですよ」

401年目。望むことは2つ。
「本気で農業をやりたい人に援農

に来てほしい、そして大平農園の野菜を食べる人が増えてほしい」と森信さんは思っています。ただし、最低半年以上、決まった曜日、時間に来てほしい。畑の作業は人の都合では決められないので、それが畑に対する「責任」です。無農薬の野菜作りの技術を学び、野菜を持ち帰ることができます。この映画を観て、畑作業を手伝う人が少し増えてきたというのも嬉しいことです。

「世田谷ボランティア協会をささえる会」では、恒例となった2月の「映画とワインの集い」で、この映画を鑑賞する予定です。ささえる会も、下馬一丁目の「ボラントリーファーム」で地域の方がたと「みどり企画」を運営し、きれいな花を咲かせています。「みどり」を媒介にした世田谷でのつながりを感じられるひとときになれば、と願っています。

(取材／編集委員 星野弥生)

ふたばの会は、ダウン症の子どもと親が集まり、さまざまなイベントや勉強会などを行っています。会員は約150人。代表の西宮秀子さんと、メンバーの三浦祥子さんにお話をうかがいました。

月1回の赤ちゃんとのお話は大切な入口。赤ちゃんとのスキンシップを楽しんだり、親同士のつながりができ、情報交換の場にもなっています。「ダウン症は生後早い段階でわかるので、保健師さんの紹介で知って参加される方が多いです」と西宮さんは話します。三浦さんも小学生の子どもを育てるお母さん。ダウン症の人と接したこともや知識がなく、最初は不安や悩みもありましたが、会に参加して



みんなが暮らしやすい社会をめざして

ふたばの会 (世田谷区ダウン症の会)

まちの

市民力!!

取材・事務局

街の中で地域やそこで暮らし
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



成長したお子さんたちの様子を見
ることで、「何年後にはこういう
ふうになっていくのか」と知るこ
とができました。子育てや就学の
問題など成長にともなうさまざま
な悩み事も、西宮さんのような先
輩方の話を聞いたりして交流を深
めています。

昨年、「親向けの勉強会やイベ
ントのときに、幼稚園や低学年の
子どもたちと一緒に遊んでくれる
ボランティアを探したい」という
ことでボランティアセンターに相
談が寄せられました。年齢を問わ
ず、どの活動でもボランティアが
かわることは大きな意味があ
ります。「家族以外のいろいろな
人とふれあうことによって子ども

は成長します。ほかの子どもと接
するのと同じように一緒に遊んで
もらえたらと思っています」

活動が始まって35年。子どもの
成長と共に活動の幅が広がり、現
在は成人のグループも活発に活動
しています。仲間やボランティア
とともにサッカーや外出を楽しん
だり、定期的にハンドベルの練習
にも取り組み、12月の「ふれあい
フェスタ」ではステージ発表もし
ました。

「ダウン症の人たちは言葉で説明
することは得意ではありません
が、理解する力や感性は豊かで、
初めて会う方にも人見知りせず、
みんな人が大好きです」と三浦さ
んは話します。「年齢より幼く見
られがちですが、年齢相応に接し
ていただき、ボランティアを通じ
て少しでもダウン症を知ってもら
えたらと思っています」と西宮さ
んは期待を語りました。まずは遊
びを通して子どもたちと楽しい時
間をすごしてみませんか。

3・11の東日本大震災から8年。天野寛子さんは、震災に関わる情景を刺繍画として数多く描き、各地の展覧会で大きな反響を呼んできました。今年3月に世田谷美術館の区民ギャラリーで作品展が開催されるのを前に、お話をうかがいました。

長年、昭和女子大学で教鞭をとられた天野さんは、「フリー刺繍（アップリケと糸と針を用いて絵画のように自在に絵柄を表現する技法）」の画家としても活動してきました。震災当時、深刻な被害を伝える膨大な報道を見て、天野さんは、「何かしなければならぬ」



刺しゅう画で被災地に寄り添う

天野 寛子 さん
あまの ひろこ

や せた 人 が キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介しします
取材●佐藤 研資



と思いながら、何もできない自分の気持ちを落ち着かせるために」、また震災の記憶を風化させないために、報道写真を刺繍画にするという手仕事を始めました。刺繍画には、絵では表現しきれない、震災を巡る人々の思いを、新聞の投稿短歌を織り込むことで表現し、これによつて作品のメッセージ力が高まったといえます。全国各地、さらに海外での作品展は高い関心を呼び、多くの方が訪れ、被災地に心を寄せてもらうことができました。

さらに今回の作品展に合わせ、「ししゅう高田松原タペストリー

展」が開催されます。これは、天野さんが陸前高田市を訪れた際、地元の方との交流の中で生まれた企画で、全国各地の方に松を題材に20センチ四方の刺繍画をつくってもらい、津波で7万本の松がさらわれた高田松原のイメージを再現しようというものです。これには海外も含め約650人の方（小学生から90歳近い方まで！）から741枚の作品が寄せられ、31枚のタペストリーにまとめられました。天野さんはこのプロジェクトについて、被災者の方、作品を提供した方、展覧会に来場した方、被災者を支援する方など、多くの方々の間で「本当に様々な出会い、人と人との繋がりを生み出しました」と手応えを感じています。

高田松原のタペストリーが全点展示されるのは、都内では初めてのこと。15ページにご紹介している天野さんの講演会とともに、ぜひ多くの方に来場していただければ、と思います。

■「東日本大震災を忘れない—3.11から8年、世田谷から考える—」
天野寛子フリー刺繍画展＆「みんなのたからもの」ししゅう高田松原
タペストリー展 3月5日～10日世田谷美術館区民ギャラリー 詳細 P.15

仕事を通して～
2/15 時半
ボランティアセンター
P15

とと語ろう不登校 part232
2/9 (土) 14 時～
POフリースクール僕んち P13

ら
2/16 時
福祉センター
「言の葉」 P 14

サポート2019
2/13 時～ 15 時半
区民会館集会所
能障害連絡協議会 P 14

野寛子フリー刺繍画展&「みんなのたからもの」
しょう高田松原タベストリー展
2/3 (火) ～ 10 (日) 10 時～ 18 時
会場：世田谷美術館区民ギャラリー
しょう高田松原プロジェクト世田谷展実行委員会 P15

リビューローバザー
2/16 (土) 10 時半～ 14 時
品募集期間 2/2 まで
ボランティアビューロー P11

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れていきます。
詳細は P10 ～ 15 をご覧ください。

気軽にボランティアの会
3/2 (土) 13 時半～ 16 時
代田ボランティアビューロー P14

●小田急線沿線

- | | |
|------------------|--------|
| ☆託児ボランティア募集 | 詳細 P10 |
| ☆梅まつりボランティア募集 | 詳細 P10 |
| ☆梅夢フェスタボランティア募集 | 詳細 P10 |
| ☆男児の通学付き添い募集 | 詳細 P11 |
| ☆調理ボランティア募集 | 詳細 P12 |
| ☆麻雀ボランティア募集 | 詳細 P12 |
| ☆ボランティア拠点の臨時職員募集 | 詳細 P13 |

ヒューマンライブラリー@らぶらう
2/24 (日) 13 時～ 15 時半
会場：男女共同参画センターらぶらう
東京ヒューマンライブラリー協会 P 15

映画とワインのつどい
「太平農園 401 年目の四季」
2/24 (日) 16 時～
会場：世田谷ボランティアセンター
世田谷ボランティア協会をささえる会 P 14

リサイクル市 (バザー)
2/28 (木) 10 時半～ 14 時
会場：世田谷ボランティアセンター
当日直接会場へどうぞ

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

☆男子中学生と一緒に運動してくださる方募集 詳細 P10

●世田谷線沿線

☆ママレードづくりお手伝い募集 詳細 P11

☆世田谷区いすみ学級ボランティア募集 詳細 P12

子育て家庭・不登校に寄り添う 訪問ワーカー養成講座

2/23 (土) 13時半～17時

会場：喜多見地区会館

NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 P13

●東急線沿線

☆玉川ビューローバザーボランティア募集 詳細 P11

☆工作・スログラミング・将棋などを楽しんでくれる方 詳細 P11

☆猫のえさやりボランティア募集 詳細 P12

☆ボランティア協会をささえる会事務局臨時職員募集 詳細 P13

- 京 京王線沿線
- 小 小田急線沿線
- 世 世田谷線沿線
- 東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安には是非ご活用ください。

バージの会学習会
「豊かに生きる～手」
2/17 (日) 13時半
会場：船橋まちづくり
バージの会

「聞こえに困った」
3/9 (土) 13時半～
会場：世田谷区総合福祉
世田谷区要約筆記サークル

春の音コン
2/24 (日)
会場：世田谷
世田谷高次脳機能

玉川
2/15 (金)
【提供】
玉川ボ

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ボランティア求む

小世

託児ボランティア募集

ふたばの会（世田谷区タウン症の会）では、講演会開催時の託児ボランティアを募集しています。

親が講演会の準備、開催、後片付けをする間、未就学児・小学校低学年の子どもたちと一緒に遊んでくれる方をさがしています。

和室を予約していますので、子ども達と寝転んだり、歌をうたったり、かなりリラクセスしたスペースでの託児となります。親はとなりの研修室で講演会に参加していますので、すぐに連絡がつき、

安心です。ご連絡お待ちしております。

●日時／3月3日（日）13時～17時

●場所／総合福祉センター3階和室（世田谷区松原6-41-7）

●交通／梅ヶ丘駅・豪徳寺駅、山下駅徒歩7分

●問合せ／ふたばの会（世田谷区タウン症の会）担当 三浦 090-4821-4602
supporters@futanokaikai.com
http://futanokaikai.com

小

梅まつりバザーボランティア募集

春の訪れが待ち遠しいこの季節、「梅まつり」に世田谷ボランティア協会も出店します。梅の花が徐々にはこるぶ様子を見物しながら、バザーや活動のPRなどを手伝ってくださる方を募集しています。1日でも、半日でも助かります。ぜひご協力お願いします。

●日時／梅まつり期間中2月9日（土）、17日（日）、23日（土）、3月2日（土）、3日（日）

9時～16時半の間でご相談

●場所／羽根木公園内

●交通／梅ヶ丘駅・東松原駅

●問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 宮崎

TEL 5712・5101

小

梅夢フェスタ ボランティア募集

梅丘商店街にて行われるフリーマーケット「梅夢フェスタ」に、今年も出店します。普段ヒューロ

ーで活動している手づくりグループの製作品や、常設バザーの商品を販売します。当日お手伝いして頂ける方を募集しております。皆さんのご応募をお待ちしております！

●日時／3月10日（日）9時半～16時半の間で相談

●ボランティア活動内容・時間／①手作りグループの作品、リサイクル品の販売および片付け

京 男子中学生と一緒に、運動してくれる男性求む

千歳烏山近辺に住むハンディキャップのある男子生徒が、一緒に体力つくりをして、そのあと銭湯に連れて行ってくれる方を探しています。自宅から公園に行き、走る練習や鉄棒、ボール投げなど、1時間くらい運動をするのをサポートしてください。銭湯の入り方を覚えていただくので、運動のあとに近くの銭湯に行き、一緒に汗を流してください。男子生徒は、明るく、一生懸命な性格です。子どもが好むで明るく元気な男性、お待ちし

●日時／木曜日以外の平日放課後、16時～18時の2時間程度。または週末の都合の良い時間帯。週1回程度。

●場所／千歳烏山近辺または祖師ヶ谷大蔵・千歳船橋近辺で

●条件／男性。交通費・入浴料は支給（交通費は上限あり）

●問合せ／梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2520

umebora@otagaisama.or.jp

東 玉川ビュローバザーボランティア募集

玉川ボランティアビュローでは、恒例のバザーを開催します。収益はボランティア活動推進費として大切に使用させていただきます。「おたがいさま」で結ばれた地域づくりに役立てます。皆さまのお越しをお待ちしております！バザーボランティアも募集中です！

●バザー開催／2月15日（金）、2月16日（土）10時半～14時

●場所・交通／玉川ボランティアビュロー（二子玉川駅徒歩5分、玉川税務署となり）

※駐車場はありません。

- ボランティア募集／
- ①値付け 2月1日（金）、6日（水）、7日（木）13時～15時
- ②会場設営 2月12日（火）10時15分～12時15分、13時30分～15時30分
- ③バザー当日の販売・片付け等 2月15日（金）、16日（土）10時～15時
- 問合せ／玉川ボランティアビュロー
- TEL 3707・3528
- tamabora@otagaisama.or.jp

東 工作、プログラミング、将棋などを楽しんでくれる方募集

玉川地域に住む小学校中学年の男の子が、一緒に工作またはパソコンでのプログラミング、将棋などを一緒に楽しんでもくれる方を探しています。

男の子は、理科が好きで、優しく穏やかな性格です。自宅や児童館などで2時間程度、一緒に遊んでください。

- 日時／月～金曜日。月2回から。時間は応相談。
- 交通／二子玉川駅
- 条件／交通費支給。年齢・性別不問。子どもが好きな方
- 問合せ／玉川ボランティアビュロー
- TEL 3707・3528
- tamabora@otagaisama.or.jp

世 ママレードづくり

コミュニティ・ネットワーク・ウェーブは、「誰もが安心して住み続けられる地域づくり」をめざして活動しています。

ウェーブでは、区内のあちこちから夏みかんをご寄付いただき、毎年この時期にママレードをつくり、活動資金の一部にさせていただきます。

今年も作業を行いますので、お手伝いをしてくださる方を募集します。短時間でもけっこうです。おひとりでも多くの方がお手

お手伝い募集

伝いくださると助かります。よろしく願います。なお、お手伝いくださった方にはママレードを1個お持ち帰りいただきます。

●日時／2月5日（火）、14日（木）、19日（火）、3月8日（金）、15日（金）、21日（木）、30日（土）10時～15時頃

●場所／弦巻区民センター調理室

●申込み・問合せ／NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ 担当 一宮

070・5457・7781



4月から小学校に通う男児の通学付添い募集

朝、両親の出動に合わせて7時に自宅に迎えに行き、7時半頃に、自宅を出て小学校の特別支援学級まで一緒に登校してくれる方を探しています。

男の子は、コミュニケーションはとることができ、おとなしく人懐っこい性格です。週2回程度でもかまいません。現在男の子は、祖師谷の保育園に通っています。2月くらいから月2回程度、保育園まで一緒に登園していただくことから始めたいと考えています。

- 日時／月～金曜日の間で週2回程度（応相談 7時～8時15分（90分程度））
- 場所／千歳船橋駅近辺の自宅・小学校まで（祖師谷近辺の小学校の予定）
- 条件／交通費支給（上限あり）
- 問合せ／梅丘ボランティアビュロー 担当 赤松
- TEL 3420・2520
- umebora@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。3月号掲載は2月10日（日）に締め切りです。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線



調理ボランティア募集

通所型高齢者施設の昼食と、夕食のお弁当と一緒に作ってください方を募集しております。調理、配膳、洗い物などの、厨房作業です。料理が好きな方、覚えたい方、学生さん、男性の方、主婦の方も募集しております。月一回でも構いません。ご興味ある方、一度ご連絡ください。



麻雀ボランティア募集

身体障害の方々の生活介護施設「ほほえみ経堂」です。麻雀は、考える力が必要なため、頭を使い、そして手を動かすという、利用者さんにとって素晴らしい活動のひとつとなっています。そんな活動のお手伝いをして下さる方を募集しています。

ご連絡お待ちしています！
●日時／金曜日 13時半～15時
(他の曜日也要相談)
●場所／ほほえみ経堂
●交通／経堂駅徒歩10分
●募集人数／何人でも
●問合せ／ほほえみ経堂
担当 久我
TEL 5451・5151
hohoeni0318@yahoo.co.jp
<http://hohoeni.routyou.gr.jp/>



東 猫のえさやりボランティア募集

奥沢7丁目までひとり暮らしの高齢男性が、ご自身の入院中(約1か月間)に猫のエサやりと水やりをしてくださる方を探しています。エサと水は、家の中に入らずに替えることができます。短時間でできる作業です。関心のある方は、まずはお問合せください。

京世 知的障がいのある人と一緒に活動しよう いずみ学級ボランティア募集

「いずみ学級」は、知的障がいのある人たちと、彼らを支え、共に学び、遊ぶボランティアによって運営される学級です。1年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイイク、キャンプ、スキーなどの活動をしています。(詳しくは世田谷区ホームページより年間活動計画を参照ください)

ボランティアは、学生や社会人、主婦など、老若男女問わずさまざまな人たちが参加して活動しています。資格等は不要で、知的障がいのある人たちと関わることに興味のある方なら、誰でも参加できます。ボランティア募集は年間を

●日時／週一回、日中(応相談)
●場所／男性のご自宅
●交通／九品仏駅徒歩5分
●募集人数／1名～数名
●問合せ／玉川ボランティアビュー
一口ー
TEL 3707・3528
tanabori@otagaitsama.or.jp

通じて行っています。実際に参加している方の声もホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。ホームページから、またはお電話にてお気軽にご連絡ください。

●日時／原則として第1・第3日曜日10時～15時半(年22回)
●場所／活動拠点は世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校。他に外出や宿泊行事もあります
●条件／高校生以上
●問合せ／世田谷区教育委員会
事務局 生涯学習・地域学校連携課
いずみ学級担当
TEL 5432・2733

有償スタッフ募集

小東 ボランティア拠点の臨時職員募集

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。

- ① ボランティアビューロー勤務
内容／ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・立案・実施、一般事務施設の管理、バザーの企画・運営ほか
- 勤務地／代田ボランティアビューロー（代田2・20・6）
- 交通／世田谷代田駅徒歩1分
- 勤務日／月曜～土曜日のうち、週3日程度（ただし、月1～2回土曜日の交代勤務あり）
- 勤務時間／9時55分～17時10分
- ② 「世田谷ボランティア協会をささえる会」事務局スタッフ
内容／ボランティア活動の推進および「ささえる会」にかかわる諸事業の実施、会員管理、一般事務
- 勤務地／世田谷ボランティアセンター（下馬2・20・14）
- 交通／三軒茶屋駅徒歩12分
- 勤務日／火曜～土曜日のうち、週3日程度（ただし月1回夜間の会議あり）
- 勤務時間／9時45分～17時以下、①②とも
- 条件／20歳以上で人とかわるものが好き、地域のために何か始めてみたい方
- 雇用期間／2月以降～2019年3月末日（勤務開始日応相談）
- 年度ごとの契約、更新あり
- 待遇／時給1010円（交通実費支給、雇用保険あり）
- 応募方法／履歴書（写真貼付）、作文「応募の動機」（4000字程度）を郵送または持参
- 選考方法／1次選考：書類、2次選考：面接
- 応募締切／適任者が見つかり次第締切
- 問合せ／世田谷ボランティア協会
TEL 5712・5101

講座・その他・募集

小 子育て家庭・不登校に寄り添う訪問ワーカー養成講座

子育て家庭を訪問して家事や育児のサポートを行いながら、子ども・家族の安心した暮らしを支える「ケアワーカー」、不登校・ひきこもり・発達障がいの子どもの若者に寄り添い自分らしく生きることを支える「ユースワーカー」として活動して下さる方を募集しています。

養成講座では、講義「子どもを支援するとは」、活動場面に關するグループワーク、実際の活動に關する説明などを行います。お電話かホームページよりお申込みく

不登校の当事者と保護者だけでなく、社会への不適応感を抱く若者や大人まで、想いを自由に語り合い、それぞれの経験に参加者の皆さんが自分を重ね合わせるなど、多くの出会い方で自分を見つめ直す機会となっています。不登校を広い意味のメッセージと捉え、あらゆる問題を語り合える場です。途中参加、途中退席も自由

ださい。お問い合わせもどうぞお気軽にお寄せください。

- 日時／2月23日（土）13時半～17時（13時15分開場）
- 場所／喜多見地区会館
- 交通／喜多見駅徒歩3分
- 募集人数／30名程度
- 参加費／一般1000円、学生500円
- 問合せ／NPO法人 日本子どもソーシャルワーク協会
TEL 5727・2133
<http://www.jcsw.jp/>

小京 「もつと語ろう不登校 part232」

です。気楽にご参加ください！

- 日時／2月9日（土）14時～
- 場所／フリースクール僕んち（代田4・32・17サンハイツB）
- 参加費／3000円（カンパ歓迎）
- 交通／梅ヶ丘駅・東松原駅
- 問合せ／世田谷3分科会「もつと語ろう不登校」担当 高橋
TEL 3327・7142

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。3月号掲載は2月10日（日）に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

小 気軽にボランティアの会
～先輩ボランティアの話をきいてみよう～

先輩活動者のお話を聞きながら、ご自身に合った活動をみつけてみませんか？今回で9回目となるこの会をきっかけに、たくさんの方がボランティア・地域活動への一歩を踏み出されています。

今年は新しいこと、始めませんか？はじめの一歩、まずは気軽ににご参加ください。

●日時／3月2日（土）13時半～16時

●場所／代田ボランティアビュロー 2階（階段をあがって、

世 春の音コンサート2019

2008年に、高次脳機能障害者が舞台の上で主役となり、それぞれの表現方法でメッセージを伝える場としてスタートした『春の音コンサート』は今年で12回を迎えます。フラットなフロアで、出演者の息遣いまで聞こえるというアットホームな空間です。今年も一緒に楽しみましょう。

●日時／2月24日（日）13時～15時半（12時半開場）
●場所／世田谷区民会館2階集会室
●交通／松陰神社駅徒歩5分
●参加費／900円（資料代）
●問合せ／世田谷高次脳機能障害連絡協議会 担当 今井
090・3518・3876

小 学習会「きこえに困ったら」
～書いてもらおうとこんなに便利～

最近ご自身の、あるいはご家族の「きこえに困っている」ということはありませんか。

今回の講座では、きこえに困った経験者2名の方からの難聴の体験談をお伺いし、きこえない・きこえにくいときの少しの工夫やコミュニケーションについて考えます。また筆談の体験（自分で書いて伝える方法。筆談ボードも作製します）と、コミュニケーション支援方法のひとつである要約筆記（音声を手文字で伝える通訳）のミニレクチャーも行います。

東 映画とワインのついで

栃木県足利市の山裾にワイナリーを持つ、知的障害者の福祉施設「こころみ学園」でつくられている「こころみワイン」。有機野菜の手作り料理と一緒に、お楽しみください。どなたでもご参加ください。

●日時／2月24日（日）16時～
●内容／映画『大平農園 401年目の四季』上映、交流会
●場所／世田谷ボランティアセン

●日時／3月9日（土）13時半～16時

●場所／世田谷区総合福祉センター「さくらばーと」3階研修室

●交通／梅ヶ丘駅、豪徳寺駅、山下駅徒歩5分

●募集人数／50名

●参加費／300円（実習材料費込）

●申込み／要事前申込（3月3日締め切り）

●問合せ／世田谷区要約筆記サークル「言の葉」事務局

TEL 3427・1729
kotonoha1996@gmail.com

ター

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●参加費／一般1500円、会員1000円、（ワインかジュース1杯と手づくりの軽食付き）

●申込み／電話またはメールでお申込みください。

●問合せ／世田谷ボランティア協会をささえる会

TEL 5712・5101
sasaserukai@otaga.isama.or.jp

小 バージの会 第7回学習会 「豊かに生きる／手仕事を通して」

今までにない超高齢化社会。子育てや仕事がひと段落してからの後半生が長くなっています。

外国語？ スポーツ？ ボランティア？ 地域活動？「どのように豊かな人生を送っていくのか」はだれにとっても大切なテーマになっています。

フリー刺しゅう作家でもある天野寛子先生（昭和女子大学名誉教授に、フリー刺しゅうという手

仕事を通して見えてきたもの、豊かな人生のためのヒントを教えてください。ただただと思えます。

日時／2月17日（日）13時半～15時半（開場13時。終了後、天

野先生との交流会予定）
●場所／船橋まちづくりセンター

●交通／千歳船橋駅徒歩11分
●参加費／無料

●問合せ／バージの会 稲垣
090・8114・8113

東 天野寛子フリー刺繍画展＆ 「みんなのたからもの」ししゅう高田松原タペストリー展

「東日本大震災を忘れない」3.11から8年、世田谷から考える」と題して、この間の震災に関わる報道写真・記事をフリー刺繍画にした天野寛子さんの作品と、熱い想いの込められた741枚の「ししゅう高田松原」を展示します。

●日時／3月5日（火）～10日（日）10時～18時（※初日は13時～、最終日は16時まで）入場無料
●場所／世田谷美術館区民ギラ

リーA室

*運動企画／3月9日（土）には世田谷美術館講堂で、トークサロン（13時～14時半）と、「夢のはな奏であい」によるチャリティコンサート（15時～16時半）を企画しています。

●問合せ／「みんなのたからもの」ししゅう高田松原プロジェクト
世田谷展実行委員会
080・41137・0808

東 ヒューマンライブラリー@らぶらす

参加ください。

●日時／2月24日（日）12時半～受付開始、13時対話開始、15時半まで（入場無料、予約不要）

●場所／世田谷区立男女共同参画センターらぶらす

●交通／三軒茶屋駅徒歩7分
●募集人数／50名程度

●条件／事前に同意書に署名してもらいます。

●問合せ／東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井
090・4751・6942

tsubo12@gmail.com

tsubo12@gmail.com

市民社会をつくるボランティアフォーラム

暮らしに関わるさまざまな社会課題に焦点をあて、それを共有し、私たちにできることを考えていくためのイベントです。テーマは「イロドリある未来へ／わたしから踏みだす一歩」。対話を通して気づきを得て、新たな一歩を踏みだす。それが彩りある未来につながるべく、そんな想いがこめられています。3種にもわたる分科会、企画の内容はホームページ、チラシをご覧ください。

●日時／2月8日（金）～10日（日）

●場所／東京ボランティア・市民活動センターほか

●交通／飯田橋駅
●参加費／一般2000円、学生1000円（1分科会のみ参加の場合、1000円）

●問合せ／東京ボランティア・市民活動センター
TEL 3235・1171

https://www.tvac.or.jp/special/v2019

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

2/15～16(金土) 玉川ビューローバザー、2/28(木) はボラセン「リサイクル市」です。売るボランティア、買うボランティア、どちらもお楽しみください。

◆ふらっと&withより

商店街では毎月のように迎える季節のイベントが、毎日に追われているように感じてしまいます。それでも街の様々な移り変わりから季節を感じるゆとりのある日々を迎えたいと思います。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

受験シーズンが始まりました。子どもたちがしんどさやつらさを感じた時に、チャイルドラインを思い出してくれたらいいな。子どものきもちに寄り添う大人が待っています。

編集後記

■大平農園さんには以前たくさんの新鮮なきゅうりをお分けいただき、「夕食会」等の事業に活用させていただいたことがあります。とれたて野菜のみずみずしさを覚えています。
■胃腸が疲れてくると身体にやさしいものが食べたくなり、手間ひまかけてつくられた野菜や卵の料理がおいしいお店でランチすることがあります。おなかもちろほわっとします。ボラセンの近くにある私の隠れ家です。(み)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

